

普通救命講習の実施【体育科3年】

北海道恵庭南高等学校

今回、コロナ禍の影響で3年ぶりの「普通救命講習」実施となりました。体育科3年生対象に10/16(月)、10/23(月)に実施されました。2週に渡り、恵庭市消防署の方が講師を務めてくださいました。特に心肺蘇生法やAED使用の実技講習に真剣に取り組み、正しい救命処置を学びました。



生徒の感想

「まず、心臓がいつ止まるかわからないということ。将来は救命士になりたいと思っているので、今回の経験を生かして行こうと思った。」

「今日の救命講習を受けて、とにかく勇気が必要だ。倒れていたり、意識がない人に話しかけるのはそうそうないことだから、勇気のいることだ。普段の日常生活から救命のことを勉強が必要だとわかった。」

「いざという時にパニックにならないように、今日学んだことを忘れないようにする。日頃から利用する公共の公園や駅ではAEDがどこにあるのかなどを確認しておく。」